

立入検査など日々の活動を通し、  
火災を未然に防ぐ。



**大北 友子**さん(1985年生まれ)  
名古屋市立富田高校 卒業

**名古屋市消防局**  
名古屋市中区三の丸3-1-1  
<https://twitter.com/NagoyaShobo>

●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→公務員試験対策などをおこなう専門学校に進学→名古屋市職員採用試験に合格→消防学校に入学→消防隊や救急隊を経験→予防課に配属

— 学生時代

「高校時代は、柔道部以外にも、サッカーのクラブチームに所属し、忙しくも楽しい毎日を通しました。体育会系の部活だったので、上下関係や礼儀を学べたのが大きいです。クラブチームのメンバーは大学生や社会人が多かったため、幅広い年代の方とふれあうことができ、とても貴重な経験になったと思います」

消防士をめざした経緯は？

「消防士という仕事を意識したのは、進路を決める高校3年生の時に、体を動かすことが好きだったこと、社会の役に立つ仕事に就きたいという思いからです。単純に『消防士ってカッコいい！』という理由もありました」

— 仕事について

「半年間、消防学校で基礎を学ぶことになりました。実技ではホースを伸ばすなど消火活動の基礎、座学では予防の知識や心構えなどを学びました。時にはつらい訓練もありましたが、同期で励まし合いながら乗り越えることができました。楽しい思い出もたくさんあります」

最初に任された仕事は？

「最初は消防隊としての活動から。現場までの道案内や必要な資器材をもっていくことから任されます。先輩には、『かゆいところに手が届く人になれ』とよく言われました。まわりをよく見て、いま何を求めているのか、何が必要なのかを考えていまでも行動するように意識しています」

— メッセージ

「名古屋市職員採用試験に合格することが第一歩。私も高校生の時から試験に向けて勉強していました。いまは、共働きが当たり前の時代。名古屋市消防局は、女性だけでなく、男性も子育てや介護の制度を利用できる職場環境なので安心して働けると思います。私は、26歳で産休と育休を取得し、現在は復職しています。学生時代は、興味をもったことにチャレンジしてほしいです。その経験が何かのきっかけや人生の軸になるかもしれません。人生経験の分母を増やしてください！」



現在の仕事内容を教えてください。

「消防隊、救急隊の活動を経て、現在は予防課で働いています。私たちは、被害を最小限にすること。主に、倉庫や学校、工場や会社など、一般住宅以外の建物で立入検査を実施しています。消防用設備等の設置状況や防火管理状況などを確認し、不備や違反があれば説明をして改善してもらいます。ほかにも、消防訓練の立会いや高齢者への防火指導なども予防課の仕事です」

— やりがい

「火災件数は、昔と比べると減少傾向にあります。消防用設備等の機能向上や、設置基準が厳しくなったこともその理由のひとつだと思います。ただそれ以上に、いままでも予防課の先輩たちがおこなってきた一つひとつの仕事が数字につながっていることを私は実感しています。予防課の仕事は、活動がすぐ結果につながるわけはありませんが、今後の火災件数を少しでも減らせるように私も仕事に取り組みたいです」



18歳 部活やクラブチームの活動に励む。東京法律専門学校名古屋校に進学。  
19歳 消防学校で消防士の基礎を学ぶ。消防署に配属後、消防隊として勤務。  
35歳 火災件数を少しでも減らせるよう、日々の予防業務に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>



お客様の笑顔にしたい。  
自分の作った商品を通して、



常に全力で!

横井 諒さん (1996年生まれ)

名城大学附属高校 出身  
中部大学 応用生物学部卒業

フジパングループ本社株式会社

名古屋市長穂区松園町1-50  
<https://www.fujipan.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、菌や酵母について学ぶ→パンを製造する企業に就職→食品製造(パン)

— 学生時代

「高校時代の思い出は、友人と草野球をしたり、カラオケに行ったりしたことです。もともと生物系の分野に興味があり、中部大学応用生物学部に進学しました。生物系の中でも中部大学は環境問題やバイオ産業について力を入れていたことが進学先を選んだ決め手です」

「印象に残っている講義は、微生物学です。目に見えないほど小さな菌やカビによって人間の生活が支えられていることに驚きました。所属していた研究室では、独自の酵母を用いたパンや日本酒の研究をしました。食品業界に興味をもったのは、その研究室の影響が大きいです。その中でも、卒業後は製パン関係の仕事に就きたいと思うようになりました」

— 仕事について

「大学卒業後、フジパングループ本社株式会社に就職しました。入社して、1年間の研修後に工場配属となり、最初に教わった業務はパン生地の仕込みについてです。工場内では安全意識をもって業務に取り組む心構えが大切だということも先輩から教わりました。私が想像していた以上に手作業が多く驚きました。機械を使い製造している所もありますが、手作業の所も多く、ていねいな製品づくりを心がけています」

「現在の仕事内容を教えてください。」

「現在は、作られた生地を専用の機械に充填して、商品の見本通りに生



「生地への毛髪混入防止のため、こまめにローラーチェックをしています。また、分割した重量によって廃棄されてしまうため、常に最適な重量へ分割できるように機械設定の調整を心がけています。今後は、現場責任者になれるよう、生地の仕込みや商品包装など、さらなる技術の習得をめざしています」

— やりがい

「自分が製造に携わった商品が陳列されている様子を見ると、大きなやりがいを感じます。工場内で作られている製品の中でも、私は特に甘い商品を担当しているので、自分の作った商品のおいしさを通して、購入していただいたお客様を笑顔にしたいです」

— なるためには

「仕事をすすめるうえで、必須となる資格は特にありません。入社してから仕事や専門知識は覚えていけばいいと思います。資格や知識はいりませんが、少しでもパンに興味があることが大切ですね。私も、大学時代にパンや日本酒を研究した経験が、いまの自分につながっていると感じます。高校時代は、勉強も遊びも手を抜かず、全力で取り組むべきだと思えます。何事にも全力で取り組んだ経験は、自分の糧となっており、将来絶対に役立つときが来るはずですよ!」

ありがとうございます。



自分探し

18歳 生物系の分野に興味があり、中部大学応用生物学部に進学。

22歳 独自の酵母を用いたパンや日本酒の研究を経験。食品業界に興味をもつ。

24歳 フジパン製品の中でも、ケーキなどの甘い商品を主に担当、携わった商品を通して、お客様を笑顔に!

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様がゴルフをより楽しめるよう、集中できるようにサポートすること。



嫌なことから  
逃げない!!

伊藤 里奈さん(1999年生まれ)  
緑丘高校 出身

緑ヶ丘カンツリークラブ  
名古屋市守山区吉根長廻間3241  
<http://www.midorigaoka-cc.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→ゴルフ場に就職→先輩に付いてコースを回り、専門知識を身につける→キャディとして勤務

— 学生時代

「高校時代は、バスケットボール部に所属していました。振り返ると部活の思い出が多いですね。物事を後回しにしない、嫌なことからも逃げない精神力が身につきましたし、部活を通していろいろな部分で成長できたと思います。キャディになろうと思ったきっかけは、『あなたの性格に合ってると思うよ』と高校の先生にすすめられたから。最初はゴルフのルールもわからない状態だったので、知らない世界に対して大きな不安もありました。でも『せっかくの縁だしチャレンジしてみよう』という気持ちのほうが強かったですね。高校卒業後、緑ヶ丘カンツリークラブに就職しました」

— 仕事について

「半年の研修期間があり、ウッドやアイアンなどゴルフクラブの種類やゴルフのルール、キャディとしての実務を覚えていきました。最初は先輩キャディに付いてお客様と一緒にコースを回り、バンカーやグリーンなどコース内の名前を覚えたりゴルフの基本知識を学びます」

最初、苦労したことは？

「入社当初はゴルフの知識がまったくなかったので、専門用語や知識など覚えることが多くて大変でした。でも入社後に私もゴルフを始めたとことで、仕事への向き合い方が変わったと思います。自分もプレーすること、『こうされるとうれしい』といったお客様目線の気持ちが変わるようになりました」



現在の仕事内容を教えてください。

「私たちキャディの仕事は、お客様がゴルフをより楽しめるよう、集中できるようにサポートすることです。コースの狙い目や特性に合わせて、クラブを渡したり、距離やグリーンの傾斜などをアドバイスしていきます」

心がけていることは？

「楽しい時間を共有できるように、笑顔で明るい接客を常に心がけています。最後にバターがきれいにいった瞬間は、お客様と一緒に喜びを共有できますよ！一方で、集中して黙々とゴルフに取り組みたいお客様には、そこまで話しかけたりはせずに、距離を伝えたり、クラブを渡したりする程度で、集中できる環境づくりを意識しています」

— やりがい

「最後にお客様から、『1日ありがとうございました。伊藤さんがキャディでよかったよ!』と言ってもらえるとうれしいです。お客様の役に立てたことを実感できる瞬間です。今後はいろいろな経験を重ね、キャディとしてもひとりの人間としてももっと成長していきたいです」

— なるためには

「特に必須資格はありません。コースを回る体力、やる気と根性さえあれば問題ないですよ(笑)。あとは、若い方から親世代の方まで幅広い年代のお客様と接するので、どんな方でも笑顔で対応できるコミュニケーション力も大切になってきます。学生時代は、部活でも趣味でも勉強でも、ひとつのことに集中して最後までやり遂げてほしいです。飽きて途中で辞めてしまうのはもったいないですよ。一度始めたことは、結果が出るまで頑張ってくださいね!」

ありがとうございます。



先輩

- 18歳 部活に熱中した高校時代。精神力を鍛えられる。
- 19歳 緑ヶ丘カンツリークラブに就職。研修を通して専門知識を身につける。
- 21歳 楽しい時間やよろこびを共有できるよう、笑顔で明るい接客を心がける。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



電気を安定供給することで、  
人々の生活や産業の根幹を支える。



努力と感謝

**福田 彩乃**さん (1994年生まれ)  
名古屋市立向陽高校 出身  
早稲田大学 文化構想学部卒業

**中部電力パワーグリッド株式会社**  
名古屋市中区東新町1  
<https://powergrid.chuden.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→電力会社に就職→現場でお客様対応や契約管理などを経験→調達部に配属

— 学生時代

「部活と勉強の両立を意識していました。部活は、スウィングガールズに憧れてビッグバンドに所属し、演奏活動に力を入れていました。勉強面では、1年からコツコツと手を抜かず、日々の予習復習、定期テストなどへ取り組みました。高校卒業後は、早稲田大学文化構想学部に進学しました」

大学時代のことを教えてください。

「幅広い分野を学びましたが、その中で興味をもったのは社会学。現代の結婚観や女性の働き方、SNSの普及による人間関係の変化など、興味のある身近なトピックを学問につなげることで、自分なりに日常を見つめ直す機会になりました。就職活動の軸にしたのはインフラ業界です。大学卒業後、中部電力パワーグリッドに就職しました」

— 仕事について

「最初の2年間は、営業所に配属されて、お客様対応や契約管理、停電などトラブルが起きたときの対応を経験しました。電気を家庭に送ることの大切さや自分の仕事の使命を肌で感じる事ができたと思います。この2年のあいだに、電気事業の基礎を体系的に学びたいと思い、第二種電気工事士の資格を取得しました」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は調達部に所属しており、電気を送電するのに必要な電柱や電線などの資機材を調達する仕事をしています。現場のニーズに対し、

— やりがい

「資機材の安定供給が電気の安定供給につながります。自分が電気の供給に携わったシヨッピングモールなどの施設で、お客様が楽しんでる様子を見るのもうれいんです。縁の下の方持ちのようなポジションですが、みなさんの生活や産業を支えていることを実感できます」

今後のビジョンは？

「この業界は、電力自由化など、変革期にあります。いままで通りではきつとだめ。変わらぬ使命と新たな挑戦を大切にして仕事に取り組みたいです」



— なるためには

「公益性の高い業界なので、資格や知識よりも使命感や責任感が大切だと思います。新しいことにチャレンジする気概も必要。あとは、この業界に限りませんが、人の意見を聞く、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることも大切です。私もそうでしたが、高校時代にビジョンが固まっていなかったら、後悔の多いままになっていただろうと思います。まずは、勉強でも部活でも遊んでも、目の前のことを後悔のないように続けてください。私も目の前のことをコツコツ続けていって先に今があることを実感しています」

ありがとうございます。



自分探

- 18歳 何事もコツコツと続けることがモットー。高校卒業後、早稲田大学へ。
- 23歳 インフラ業界を志し、中部電力パワーグリッドに就職。2年間、現場を経験。
- 26歳 変わらぬ使命と新たな挑戦を胸に、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



すべての部署と接点を持ち、円滑に物事が進むように陰で支える。



**杉村 奈純**さん(1987年生まれ)  
愛知商業高校 出身

**キッコーナ株式会社**

名古屋市北区長喜町1-12-1  
<https://www.kikkona.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 日商簿記2級、ワープロ検定などの資格を取得→高校卒業→各種調味料の製造・販売をおこなう企業に就職→総務部に配属

——学生時代

「高校時代はテニス部に入っていて、朝練も授業後の練習も真剣に取り組み、部活に熱中していました。あとは、商業高校だったので資格取得に励んだことも印象に残っています。毎週のように何かの検定試験を受けていました。日商簿記2級、全商簿記1級、ワープロ検定などを取得することができました。商業高校で学んだスキルをいかせると思い、味噌や醤油など調味料の製造・販売をおこなうキッコーナに事務職として就職しました。子供のころから味噌が大好きだったことも大きいですね。好きな食べ物に味噌汁を挙げるくらい(笑)。実家から近くて昔から家庭でも馴染みのあった企業がキッコーナでした」

——仕事について

「入社後、先輩の引き継ぎで総務部に配属されました。入金チェックや経費伝票など各種伝票の作成、お客様の案内などを任せられました。最初に教わったのは「ほうれんそう(報告・連絡・相談)の大切さ。これは、いまも徹底して意識しています」

**現在の仕事内容を教えてください。**  
「総務の仕事は縁の下の力持ち。表立って活躍するわけではなく、見えにくいところでコツコツ頑張るのが私たち総務部です。お客様が来店しやすい環境や、社員が思い切った働ける環境をつくるのが大切です」

**具体的にはどのような仕事が？**  
「たとえば、店頭での接客や電話対応。店頭販売用のポップを作った



心がけていることは？

「いま何をすべきかを考え、優先順位をつけること。入社当初は、いろんな業務があるなかで、何から手をつけていいのかわかりませんでした…。いつも正確な仕事をしている先輩の姿を見たり、経験を積んだりすることで、期日に合わせた仕事ができるようになりました」

——やりがい

「上司が求めている資料をタイムリグよく出せたとき。上司が作業を始めたのを見て、言われる前に察知して準備するようにしています。各部署の仕事をサポートでき、「ありがとう」と感謝されたときにはやりがいを感じます。当社の調味料を使ったレシピを作成して公開しているのですが、来店されたお客様から『作ってみたいけどおいしかったです！』と言われたときもうれしいです！」

——なるためには

「特に必須となる資格はありませんが、経理の仕事では簿記の知識やパソコンスキルが役に立つと思います。総務部の仕事は、円滑なコミュニケーションや協調性が求められます。私は部活の上下関係や高校の先生方からそれらを学んできました。みなさんに伝えたいのは、日々、感謝をするということ。いまある環境は、当たり前ものではありません。まだ、そのありがたみに気づかないかもしれませんが、日々の何気ないことにも感謝を忘れないようにしてくださいね！」

ありがとうございます。



自分探

- 18歳 実家から近く、昔から馴染みのあったキッコーナに就職。
- 19歳 総務部に配属。各種書類の作成、仕事の優先順位のつけ方などを学ぶ。
- 33歳 縁の下の力持ちとして、社員が思い切った働ける環境をつくる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





Photo by Yoji Kawada(mosa)

夢を叶える魔法は  
続ける事  
Continue!!



Photo by Yoji Kawada(mosa)

第16弾

YOUTH  
ユースフラッシュ  
FLASH

名古屋出身の有名人インタビュー

名城大学附属高校出身のミュージシャン、SEAMOさんを独占取材!

紅白歌合戦への出場や武道館公演の成功など、一見華やかな舞台で活躍してきたように見えるミュージシャンのSEAMOさん。その陰で実は2度の大きな挫折を経験したそうです。その挫折とどう向き合い、どう乗り越えたのか? デビュー15周年を迎えたSEAMOさんに厳しい世界を生き抜く秘訣を聞いてきました。

高校時代

「3年間1回も休まなかったですし、楽しい高校生活でした。当時は異性をモチベーションにしていたので、『男子校(現在は共学)に通うなんてありえない』と思っていました。3年のときに生徒会長になって文化祭の運営をしたり、文化祭でストリートダンスを披露したりもしました。ダンスを始めたきっかけは、日本に一大ムーブメント巻き起こしたダンス甲子園。でも当時はダンススクールもない時代なので、ダンス甲子園で流れている曲を調べたり、雑誌でクラブ特集をチェックしたり、必死に情報収集をしていました。ダンスから入り、その延長でラップも始めた感じです」

音楽体験

「ラップという音楽手法も含め、すべてが新鮮でかつよかったです。もともと音楽を聞くのは好きでしたけど、音楽の授業は嫌いだっただけで、楽器もできないし、歌もうまくないから。それでもラップは自分を表現できるところにやられちゃいました。ダンスやタギング、ファッションなど、どんなヒップホップに夢中になっていきました。『高校時代について教えてください。』「高校卒業後、愛知学院大学に進学しました。高校時代は、好きなヒップホップを共有できる友達がたくさんいたわけではありません。でも大学にはいろんな場所から学生が集まってくるので世界が広がるん

です。ヒップホップ系のファッションで学食にいと、先輩からサークルに入らないかって勧誘されたり。大学時代に、ダンスやDJなどの仲間が一気に増えました」

音楽を仕事に

「人とは違うオリジナリティを突き通すことがカッコイイという美学をもっていたので、『よし下ネタを』と、裸で天狗のお面を付けてラップしていたら、早い段階で『お前もしろいな』ってギャラをもらえるようになったんです。『シーモネーター』っていう名前も名前だったのが、名古屋にヤバイやつがいるらしいぞって噂が広がって、徐々に全国からおファーがくるようになりまして。それなりにお金が入るし、ひよっとしたら音楽で飯が食えるかもって思いはじめたのが20代前半のころです」

じゃあ下積みらしい下積み時代はあまりなかったんですか?

「もちろんありました。でもそれをつらい下積みだとは思っていません。いまはSNSで告知をしたり音源を聴いてもらえたりしますが、当時はフライヤー(チラシ)を配るのもすべて自分たちで、100店舗くらい服屋さんや飲み屋さんを回って関係値を築いたり、イベント終わりの明け方に配ったりしていました。ヒップホップって、街から人気者を全国に押し出していくというカルチャーでもあるので、地道に街と築いてきた関係値があるから、いまも続けられていると思います」

成功と挫折

「2002年にメジャーデビューをしてメディアに出る機会も増え、当時は盛り上げられない会場はない』ってくらい自信をもってました。実際に、出演すれば何かしら爪痕を残すことができていたと思います。ただ間違っていたのは、昔はデビューがゴールだと思ってたんですけど、そこがスタート地点に過ぎないことに気づくんです。CDが売れなければ1年後の契約もない状況。実際に約1年で契約がなくなっちゃって、デビューのときに寄ってきた人たちが手のひらを返して離れていくのを感じました...」

生々しくつらい経験ですね。

「もう音楽やめようかなって思う時期もありましたけど、名古屋の仲間であるHOME MADE家族やnobody knows+がヒットを飛ばしているのを見て、勇気づけられたし、自分も届かない場所じゃないって思えたので頑張ることができました。あとは、契約がなくなっても、離れずに応援してくれた人たちの存在も大きいです。もう一度初心に戻り、地道にデモを作って再デビューに向けて活動を再開しました。いまとなつては、去っていった人たちも『試練を与えてくれてありがとう』という仏の心をもって見ることができています。結果、2005年に『SEAMO』として再度メジャーデビュー。当時ラブソングやメッセージソングの先駆者的な感じにもなつて時代とマッチし、紅白歌合戦や武道館でもライブすることができました」

「自分は何がやりたいんだ?」って自問自答したとき、結局ルーツに戻ったんです。壁にぶつかったときのヒントは、自分の過去の活動に隠れていたりすると思いますよ。

見事な復活劇ですね。

「山を登っていくときは、どれだけ忙しくても楽しいんです。でもいこばかりは続かない...。脚光を浴びてた人間がそれを受け入れるのには時間がかかるし、その山を下っていく作業は、最初の挫折とは比べ物にならないほどつらかったです。一度成功した人つて、その成功例を幻影としてもっていて、時代が変わっているのにそれにすがつちゃうんです。だから何をやってもうまくいかない時期がありました。会心の出来だったCDがオリコン10位だったときは終わつたって思いました...。まわりから『日本の10位だよ。すごいじゃん』って言われても当時は受け入れられなかったです」

その挫折を乗り越えた秘訣は?

「自分は何がやりたいんだ?」って自問自答したとき、結局ルーツに戻つたんです。シンブルに自分がやりたいことは、あのときに衝撃を受けたヒップホップなんだと。そう思つたら身も心も軽くなりました。やっぱりそれが表情や歌に出るんです。デビュー15周年のドキュメンタリー映画『もしもあの時...』を今年公開したんですけど、『やっぱりこれだね』って気持ちになりました。壁にぶつかったときのヒントは、自分の過去の活動に隠れて



『PERFECT SEAMO』2020/01/22発売

今後の予定は?

「Wave Your SEAMO TOUR」の愛知公演が12月9日にZepp Nagoyaで、東京公演が16日、大阪公演が22日に開催されます。詳しくはHPをチェックしてください!」

メッセージ

「ラッパーって、まず自分がいかにヤバイかをラップすることが多いんです。それもカッコイイんですけど、僕は目立ちたい、人と違うことをやりたいという思いがミックスされて、最初に作った曲は『サラリーマンの悲哀』をテーマにしました。サラリーマンが上司と接待ゴルフに行く話です(笑)。ヒップホップってタフなイメージが強いと思うので、僕はそのど真ん中ではなかったですけど、誰ももっている弱い部分や恥ずかしい部分を表現したいと思っていました。逆にそ

SEAMOさん(1975年生まれ)

名城大学附属高校 出身 / 愛知学院大学 文学部卒業



自分歳

- 18歳 ↓ ストリートダンスを入口に、ヒップホップカルチャーにどっぷりハマる。
- 30歳 ↓ 挫折を乗り越え、SEAMOとしてメジャーデビュー! ヒット曲を連発。
- 44歳 ↓ デビュー15周年。ドキュメンタリー映画の公開やベストアルバムのリリースなど、いまなお精力的に活動中!

利用者さまが、少しでもできることを  
増やせるようにお手伝いしています。



**宮地 里実**さん(1998年生まれ)  
名古屋市立山田高校 出身  
ナゴノ福祉歯科医療専門学校 卒業

**社会福祉法人なごや福祉施設協会**  
名古屋市昭和区紅梅町3-3 円昭ビル3F  
<http://nagoyaka.or.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 介護福祉士 ※必須ではない
- 主な進路 / 高校卒業→福祉関係の専門学校や大学に進学  
→介護福祉士の資格を取得→介護施設に就職

— 学生時代

「演劇部で音響を担当し、部活中心の高校生活でした。大会に向けてひとつの劇をみんなで作り上げたことが1番の思い出です。もともと人見知りの性格でしたが、お客様のご誘導や司会進行など、他校と合同で大会運営を進めるなかで、自然と誰とでもコミュニケーションをとれるようになっていました」

— 専門時代のことを教えてください。

「ナゴノ福祉歯科医療専門学校の介護福祉科に進み、介護保険法や老人福祉法などの法律から、福祉用具の活用方法や重心を低くして体に負担をかけない介護技術まで介護の基礎を学びました。学校で基礎を学んだことが、現場実習でも応用できたと感じます。学校では生徒同士で利用者役を担当し、車椅子からベッドへの移乗介助、食事や排泄介助などを学びますが、実際の施設には麻痺がある方や円背の方などいろいろな利用者さんがいます。一人ひとりに合わせた介助方法を見つけるのに苦労しました。卒業後は社会福祉法人なごや福祉施設協会に就職し、現在は、なごやかハウス岳見で働いています」

— 仕事について

「最初は、とりあえず利用者さんを知ることから。既往歴やアセスメントなどから心身の状態を把握し、ケアプランを考えっていきます。大切なのは、私たちがサポートしすぎないこと。心身機能を維持、向上するために、なるべくできることは利用



者さん自身にやってみてもらおうようにしています。話すときは、しゃがんで目線の位置を下から。耳が遠い方には大きな声でゆつくりと。これらを現場実習で経験できたので、利用者さんとのコミュニケーションに関しては最初から苦労することもなかったです」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「利用者さんが笑顔で『ここで過ごせてよかった』と思ってもらえるよう、日々の生活をサポートしています。一人ひとりにケアプランがあるので、それをもとに、できなくなっていました。サポートするのはなく、少しでもできることを増やせるようにお手伝いしています」

— やりがい

「反応が薄くてあまり話さない利用者さんから、『ありがとう』って言われたときはうれしいですね。日々のコミュニケーションを通して利用者さんが心を開いてくれていることを実感します。あとは、車椅子の方が少し歩けるようになったり、ちよっとでもできることが増えたときにもやりがいを感じます」

— なるためには

「私は国家資格である介護福祉士を取得してから就職しました。仕事をするうえで必須ではありませんが、高校卒業後、専門学校や大学で介護・福祉に関する知識を勉強しておくことをオススメします。基礎があるのとないのとは、現場で仕事に慣れる速度が違うと思います。社会人になると、疲れて帰ることが多くなります。学生のうちにたくさん遊んでおいてください。あとは、溜め込まないように自分の避難場所をつくること。発散できるような友達や趣味を見つけてください。ありがとうございました。」



自分探

- 15歳 叔父の影響で福祉の仕事に興味をもつ。職場体験も介護施設へ。
- 20歳 福祉制度や法律の知識、介護技術について学ぶ。介護福祉士資格を取得。
- 22歳 一人ひとりのケアプランに合わせて、日々の生活をサポートする。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



パートナーさんと社員の関係、  
職場の雰囲気をよくすることが役割。



馬場 凌さん(1996年生まれ)

大同大学大同高校 出身  
大同大学 情報学部卒業

株式会社ヤマナカ

名古屋市東区葵3-15-31 千種ビル5F  
<http://www.super-yamanaka.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 食品衛生責任者 ※入社後に取得
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→スーパーマーケットに就職→デリカ部門に配属→食品衛生責任者を取得

— 学生時代

「高校時代は、資格取得に励みました。取得した資格は、情報技術検定3級、計算技術検定3級など。ただ、いろいろな資格を取得はしましたが、将来のビジョンは特にありませんでした。当時、自分の未来なんてまったく想像もつかなかったのので、『今を生きる』という感覚。とりあえず大学に入学してから将来のことを考えようという感じでした」

**大学時代のことを教えてください。**

「大同大学情報学部に進学しました。回路を組んで電気をつなげたり、ネットワークを自分でプログラムミングして接続テストをしたりした実験が印象に残っています。就活では、自分の時間を大切にしたいという思いがあったので、業種は決めずに休日数などを重視しました。結果、内定をいただいたのは、学生時代にずっと楽しくアルバイトをしていたヤマナカです」

— 仕事について

「最初の研修では、会社の歴史や事業内容、今後のビジョンなどを学びました。店舗配属後も、商品知識や商品を販売するための工夫など、月に1回の研修を受けています。ヤマナカの売場は、GLD(※)部門、農産部門、畜産部門、水産部門などに大きく分かれており、私は各種惣菜を取り扱うデリカ部門を担当しています」

最初に任された仕事は?

「まずは品出しから。それから、お弁当を作る担当、揚げ物、天ぷら、お寿

— やりがい

「お客様からいただく『ありがとう』『おいしかったよ!』という声やりがいです。日曜日などに大量の商品を作り、それを完売させることができたときは達成感があります」



「スーパーマーケットで働くうえで必須の資格はありませんが、デリカ部門の場合だと、入社後に講習を受けて**食品衛生責任者**の資格を取得する必要があります。この仕事は、お客様やパートナーさんなど、人と接することが好きな人に向いている仕事です。高校時代は、何事もやってみないと自分の可能性はわかりません。ただなんとなく3年間を過ごすのではなく、スポーツでもゲームでもいいので、とりあえず何か興味のあることに挑戦してみてください!」

ありがとうございます。



先輩

18歳 パソコンやネットワークに興味があり、大同大学情報学部に進学。

23歳 ヤマナカに就職。デリカ部門に配属され、惣菜の調理や品出しを学ぶ。

24歳 大きな声のあいさつ、笑顔で心がけ、日々の仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



豊かに、そして笑顔にする仕事。  
ヘアスタイルを通して、お客様の心を



継続は  
かなり!!!

野々村 裕菜さん(1994年生まれ)

鳴海高校 出身  
中部美容専門学校 卒業

Confetti つばき山下通店

名古屋瑞穂区八勝通3-17  
http://confetti-hair.jp/

なるためには

- 必要資格 / 美容師免許
- 主な進路 / 高校卒業→美容専門学校に進学→国家試験に合格し、美容師免許を取得→サロンに就職→積みを経てスタイリストデビュー

— 学生時代

「小学生のころから美容師になりた  
いと思っていました。初めて美容院  
でカットをしてもらったとき、『こ  
んな仕事があるんだ!』と感動と憧  
れを抱いたことを覚えています。中  
学高校でも目標は変わらず、進路の  
先生や通っていた美容師さんのす  
すめもあり、中部美容専門学校に進  
学しました。オープンキャンパスに  
参加したとき、先輩が親身になって  
相談に乗ってくれたり、学校や先輩  
の雰囲気が一番合っていると感じ  
たのが中部美容でした」

「専門時代のことを教えてください。」

「ワインディングやオールウェー  
ブ、カット、ヘアアレンジなど、国家  
試験に向けた練習が中心。そのほか  
着付けやエステ、ネイル以外にも、  
芸術鑑賞や演劇鑑賞の時間があつ  
たりと『美』について学ぶ機会が多  
かったです。あとは、パーソナルカ  
ラーや色彩の知識を勉強したこと  
もいま役立つと感じます。ヘ  
アもメイクも衣装もすべて自分た  
ちで計画しておこなった文化祭の  
ヘアショーが1番の思い出です」

— 仕事について

「卒業後、コンフェティに就職しま  
した。最初はシャンプーから。10日  
間の研修を受けて、力加減や泡のた  
て方など、気持ちのいいシャンプー  
を完璧にマスターしてから店舗に  
配属されます。次は、カラー、パー  
マ。最後にカットを覚えてスタイリ  
ストデビューです。サロンにもより  
ますが私は約2年半かかりました」



現在の仕事内容を教えてください。

「ヘアスタイルを通して、お客様の  
心を豊かに、そして笑顔にする仕事  
です。ヘアスタイル次第で気分は大  
きく変わりますからね。年齢やライ  
フスタイル、雰囲気などを見て、お  
客様の理想と実際に似合うスタイ  
ルのバランスをうまくとるように  
意識しています」

心がけていることは?

「大切なのは、家に帰ったときに自  
分で再現できるかどうか。せつかく  
キレイにきまっけていても、サロンに  
行った1日だけで終わってしまっ  
ては意味がありません。髪質や頭の  
形、普段のお手入れ方法などを聞い  
て、お客様が自分自身でセットでき  
るヘアスタイルを心がけています」

— やりがい

「面と向かって『ありがとう。次もお  
願います!』って言われたときに  
やりがいを感じます。今後は店長に  
もなりたいですし、結婚、出産など  
ライフステージの変化に合わせて  
美容師を続けていきたいです。あと  
は、私の姿を見て『美容師になりた  
い!』と学生さんにも思ってもらえる  
ような存在になることが目標です」

— なるためには

「まず、美容師免許を取得すること  
が第一歩。技術は練習すれば身につ  
くので、大切なのは美容師になりた  
いという気持ちです。専門学校を選  
ぶときは、学校の雰囲気をしっかり  
見て2年間通えるかを考えたほう  
がいいですよ。私は中部美容で同じ  
目標をもった大切な仲間に出会う  
ことができました。それは勉強を続  
けるうえで大きかったですね。高校  
時代は、何かひとつ、部活でも勉強  
でも頑張っていることを根気強く  
続けてください。そこで鍛えられた  
メンタルは社会でも役立ちますよ」  
ありがとうございます。



自分探

18歳 小学生のころからの夢を叶えるため、  
高校卒業後、中部美容専門学校へ。

20歳 「美」について幅広い知識、技術を身に  
つける。卒業後、Confettiに就職。

26歳 年齢やライフスタイルに合わせた、そ  
の人のらしいヘアスタイルを提案する。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

http://amb100search.com



『やりたいことには正直でいたい』  
それが僕の軸になっている行動指針。



好きに生きて！

**加藤 幹泰**さん (1984年生まれ)

熱田高校 出身  
タコマ・コミュニティカレッジ 卒業

**大ナゴヤツアーズ**

名古屋市中区大須 3-42-30 ALA 大須  
https://dai-nagoyatours.jp/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→海外生活を体験→さまざまな職業を体験→地元の魅力を再発見できる体験プログラムツアーを企画

— 学生時代

「サッカー推薦で高校に入ったので、高校生活はサッカー漬け。サッカーを中心に、勉強はもちろん、友達と遊んだり恋愛をしたり、みんながみんなと違ったのは受験をしなかったこと。自分の意思と関係なく、受験に進んでいく流れに違和感を感じました。そんななか、特殊メイクを学ぶためにハリウッドの学校に行く道を選んだ友達がいっぱい。自分から外の世界に飛び出していく選択肢もあるんだ」とびびくりして、自分の中に漠然とあった海外に行きたいという思いが強くなっていきました。いままでとまったく違う環境に身を置いてみたいと思い、シアトルのタコマ・コミュニティカレッジに進みました」

— 仕事について

「帰国後、求人代理店や就労支援大ナゴヤ大学の学長を経て、2017年にまちの魅力体験するプログラム『大ナゴヤツアーズ』をスタートさせました。ツアーの企画以外にも、『ソーシャルタワーマーケット』や『よつこかめ文化祭』などのイベント企画もおこなっています。『まちと人』『文化と人』をつなげる活動が主な仕事です」

ツアー企画のこだわりは？

「もともと僕は、名古屋が大好きという感じではありませんでした。それは、いままで『これがおもしろい！』という体験がなかったからだと思います。自分が体験して『こ

— メッセージ

「僕の中で軸になっている行動指針は、『やりたいことには正直でいたい』ということ。それは、海外の学校へ進む選択をした高校生のころから変わらないです。いまは、ネットで検索したらそれらしい情報は手に入る時代。料理を調べたら、レシピも写真もたくさん出てきます。大切なのは、それを実際に作ってみること。もしかししたら、味が濃すぎたりおいしくなかったりするかもしれませんが、でも、それがリアルな体験なんです。そんな体験を学生時代にたくさんしてほしいですね」



— やりがい

「おもしろいかそうじゃないかは、受け手の主観だったりするので、見る角度を変えてみたり、触れ方を変えてみたり工夫次第でおもしろくなると思うんです。そういう本質的な感覚やモノの見方を伝えていきたいです。それが伝わった瞬間にやりがいを感じます。『近くに住んでいるけど知らないことがこんなにたくさんあるんだ！』と、自然と口を開いて参加者同士が話している光景、地元をおもしろがる人が増えていくことにもやりがいを感じます。ツアーを通して生活を豊かにするうえで必要な視点や思考を身につけ、みんなの行動が少しずつ変わっていくこともうれしいですね」



年齢

- 18歳 自分の意思と関係なく受験に進む流れに違和感を感じ、卒業後、渡米。
- 33歳 大ナゴヤ大学の学長を経て、大ナゴヤツアーズをスタートさせる。
- 36歳 さまざまなツアーやイベントの企画を通し、まちと人、文化と人をつなげる。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



製作した部品が使われている車を街で見たときにやりがいを感じます。



一日一日を大切に

尾関 沙耶佳さん(1998年生まれ)  
名古屋市立若宮商業高校 出身

株式会社鳴海合金製作所  
名古屋市緑区漆山107  
<http://www.ngm.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→自動車部品を製造する企業に入社→研修後、組付をおこなう部署に配属

— 学生時代

「中学までは勉強が苦手だったので、高校に入って勉強を頑張るようになりました。中学のときは苦手だった数学も得意科目になりました。資格取得の勉強にも励み、珠算・電卓実務検定、情報処理検定、漢字検定、簿記など、いろいろな資格を取得することができました」

— 就職先を決めたきっかけは?

「鳴海合金製作所を知ったのは、高校3年生のとき。進路指導室で、企業情報がたくさん載っている本を読んでいるときに目にとまりました。興味をもったのは、若宮商業のOB・OGのメッセージにあった『アットホームな会社』という言葉。会社見学に行ったときも、実際にアットホームな雰囲気や話しやすい環境を感じましたし、きれいな職場だったので、高校卒業後、鳴海合金製作所に就職しました」

— 仕事について

「弊社では、自動車や建設機械に用されるドアハンドルなどの樹脂製品を主に製作しています。入社後の研修は約1週間。会社の事業内容やビジネスマナーなどを勉強しました。研修後、組立課に配属され製作工程の基礎を学びました」

— 最初に任された仕事は?

「インサイドハンドルという車内側の開閉用ドアハンドルの製作工程です。製作工程は何工程かに分かれていて、経験を積みながら徐々に任される工程が増えていきます。まず、5個くらいの部品を手で組み立



て、その手組みしたものを組付機に置いて完成品になります。小さい部品を手組みしていくので、集中力が求められる仕事です」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「現在は、組付と検査の工程を任されています。インサイドハンドルに加え、リッドロックリリースハンドルやテールゲート(バックドア)などの製作もおこなっています」

— 心がけていることは?

「製品によって工程や材質、注意点もまったく違うので、一つひとつの作業を集中して的確におこなうことを心がけています。私たちが組み付けた製品がそのままお客様のところへ納品されていくので、傷が付いていないかの目視検査や動作確認、数が伝票と合っているかの確認などを入念におこなっています」

— やりがい

「街を歩いていると、私たちが作った部品が使われている車が走っているのを見ることがあります。その光景を見たときにやりがいを感じます。今後は、よりスキルを上げていき、1時間で製作できる個数を増やしていきたいです」

— なるためには

「必須ではないですが、珠算・電卓実務検定をもっているのと仕事に役立つと思います。部品の残数を確認したり、計算をすることが多い仕事です。あとは集中力さえあれば、入社後に仕事をていねいに教えてもらえるので誰にでもできる仕事だと思っています。高校生のみなさんには、1日1日を大切にしてほしいです。学生時代は、勉強や部活だったり、友達と遊んで思い出を作ったり、いろいろなことができると思います。いまできることに全力で取り組んでください!」

— ありがとうございます。



分  
採  
取

18歳 高校時代は資格取得に励む。卒業後、鳴海合金製作所に就職。

19歳 研修後、組立課に配属。ドアハンドルなどの製作に携わる。

21歳 組付と検査を担当。さらに生産性を上げるためにスキルアップをめざす。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

